

One For All, All For One

一人はみんなのために、
みんなはひとりのために。
この精神こそ、「柏魂」の原動力。

「第39回青森県ミニバスケットボール教室交歓大会」が1月9日から11日までの3日間、五所川原市民体育館、柏総合体育センターで開催され、柏ミニバスケットボール・スポーツ少年団男子が6年ぶり2度目の優勝を飾り、全国大会出場の切符を手に入れた。

同大会には、各地区予選を勝ち抜いた16チームが出場。柏は予選リーグを3戦全勝し、決勝トーナメント準決勝に駒を進めた。準決勝の相手は初対戦となる岡三沢（三沢市）。初対戦ということもあり前半はコーチ、選手とも攻めの探り合いで試合が進んだ。後半に入ると柏が攻撃をしかけ、3Q（クォーター）

鍛錬と努力が結実

絶対にあきらめない、
それが応援してくれたみんなへの恩返し

柏 ミニバスケットボール
スポーツ少年団男子

狙うは全国の頂点!



で10点リードした場面も。しかし、岡三沢もじりじりと点差を縮め、4Q終了2分前には3点差にまで迫られたが、最後まで集中力を切らさなかった柏が34-33で競り勝った。

決勝は県内公式戦で唯一、黒星をつけられたことのある十和田南（十和田市）との対戦。前回の雪辱を果たして優勝するという思いで望んだ決勝は、過度のプレッシャーからか単純なミスが目立ち、柏のプレーが出来ないまま時間が経過していった。3Q前のハーフタイムでコーチから攻め方を指導され、気を取り直して臨んだ3Qは、キャプテンを中心に試合を組み立て、3Q終了時点で28-20と8点リードで4Qに突入。柏は4Qも終始攻撃の手を緩めず、シュートを確実に決めてリードを守りきり、38-33の5点差をつけて優勝し、県内の頂点に上り詰めた。

優勝した柏ミニバスケットボール・スポーツ少年団男子は、3月28日から30日まで東京・国立代々木競技場で開かれる「第41回全国ミニバスケットボール大会」に青森県代表として出場する。

全国への扉を開いた 14人の選手。



後列左から 澁谷朋樹(5年)、島谷龍之介(5年)、古坂北斗(5年)、兼平隆世(5年)、山崎龍斗(5年)、葛西尚樹(5年)、花田千里(5年)
前列左から 澁谷海斗(6年)、三戸貴穂(6年)、笠井涼太(6年)、今 勝彦(6年)、荒谷 陸(6年)、高橋優太(6年)、清水涼一(5年)



5 笠井涼太

①かさい・りょうた (6年)
②副キャプテン・PG ③全国大会では県大会でできなかったことを直したいです。僕は、最後の試合なので、悔いの残らないようにして全国制覇できるようにがんばります。



4 今 勝彦

①こん・かつひこ (6年)
②キャプテン・SG ③全国大会では、新たな気持ちでみんなと力を合わせて思いっきり楽しくプレーしたいです。特に僕の中ではロングシュートなどのシュート力を身に付け、全国でも通用する「司令塔」になれるように練習して全国制覇したいです。

Players LineUp

青森で一番強い14人
夢の全国で「柏旋風」を
巻き起こせ

①氏名 ②ポジション ③全国大会の目標・抱負

苦境を乗り越えた 青森の王者



9 澁谷海斗

①しぶたに・かいと (6年)
②C ③全国大会は、6年生最後の大会だから、練習は今まで以上、まじめに練習して県大会の時よりも力をつけて、全国大会に行きたい。試合では、自分の力を出きって悔いのないプレーをして、チーム一丸となって今までお世話になった人たち、自分たちのために1位になりたいです。



8 高橋優太

①たかはし・ゆうた (6年)
②C ③全国大会では、スクリーンアウトをしてたくさんリバウンドをとりたいです。ディフェンスではプレッシャーをかけてカットを狙い、シュートを確実に決めたいです。6年生最後の試合なので悔いの残らないようにして優勝したいです。



7 三戸貴穂

①さんのへ・たかほ (6年)
②C ③全国大会での目標は身長が170cm以上の人たちが沢山いるのでちゃんと守れるようにすること、カットされたりゴール下でシュートははずさないようにして、他の人の迷惑にならないようにして優勝したいです。



6 荒谷 陸

①あらや・りく (6年)
②副キャプテン・PF ③全国大会までに、県大会のようなバスマスやシュートがないように練習します。全国大会などレベルの高い大会は、背も高いスピードも速いので、もっとスピードを速くして、リバウンドをいっぱいとりたくて、全国大会でも活躍したいです。



今 悟 父会長

感謝を忘れず

全国大会出場を果たせたのはコーチの指導はもちろんですが、チームを応援し支えてくれた皆さんのおかげです。県予選で柏に負けたチーム関係者からも「全国大会ががんばってきて、応援しているから」と心温まる励ましの声を掛けてもらい、とても感激しました。また、試合がある度、会場の準備、ドリンクの補充、汗ふきタオルの準備、子どもたちの送迎など選手たちがプレーできる環境をつくってくれる父母の方々にも心から感謝しています。皆さんの応援よろしくお願いいたします。

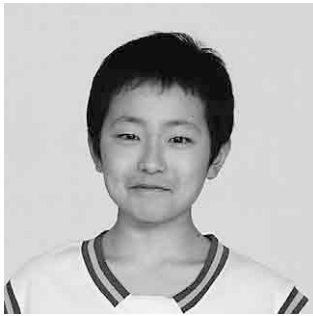
鍛えられたディフェンスと 速いパス回しで攻撃

この1年間、選手、父母らと共に全国大会出場を目指して頑張ってきました。応援してくださった皆さんのおかげもあり、6年ぶり2度目の全国大会。前回出場したチームと比べるとパワーは多少劣りますが、動きにスピードがあり、ディフェンスもいい。日頃の練習でもディフェンスのスキルを高めるため、2人以上マークすることを意識させて、速いパス回しで攻めることを心掛けさせて指導している。選手たちも試合をこなしていくにつれ、相手チームのパスをカットする確率も高くなり、勝利に結びついてきた。

全国大会では一つでも多く勝ち進み、6年前3位に終わった悔しさを喜びに変えられるよう頑張ります。



木村友明 コーチ



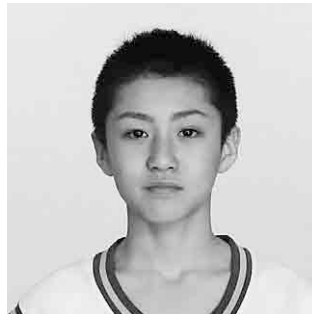
13 山崎龍斗

①やまざき・りゅうと (5年)
②P G ③僕の全国大会での目標は、6年生や試合に出ている人などのサポートをして、大きい声で応援をして頑張りたいです。全国では勝ち進んでいき、全国大会で優勝したいです。



12 古坂北斗

①こさか・ほくと (5年)
②S G ③全国大会では、緊張しないようにアップの時から声を出して、盛り上げたいです。試合の時は練習の成果が出せるように頑張りたいです。試合で勝って全国制覇をしたいです。



11 兼平隆世

①かねひら・りゅうせい (5年)
②S G ③みんなで力を合わせて優勝したいです。県で戦って勝ち上がった強豪チームと試合をするので気合を入れて頑張りたいです。シュートもたくさん決めてディフェンスも頑張りたいです。



10 清水涼一

①しみず・りょういち (5年)
②P G ③僕の全国大会での目標は、6年生最後の試合なので、6年生の足を引っ張らないようにして、自分の力を発揮して精一杯頑張りたいです。そして良い結果が出せるよう、全国大会までの練習をまじめにやりたいと思います。



17 花田千里

①はなだ・せんり (5年)
②P G ③僕は試合に出れないけど6年生最後の試合なので全国大会で優勝できるように精一杯応援したいです。



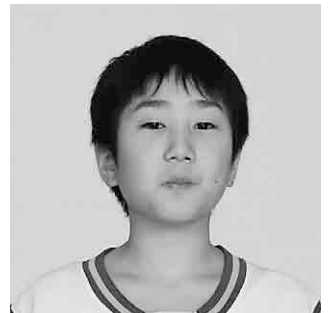
16 澁谷朋樹

①しぶたに・ともき (5年)
②P G ③全国大会に行けるので、全国制覇できるようにがんばります。応援を県大会の声よりも大きい声で応援できるように、大きい口で応援したいです。



15 葛西尚樹

①かさい・なおき (5年)
②C ③全国大会での目標は3つあります。1つ目は態度です。全国では、青森の人がどんな事をしているかなども見られるから気をつけたいです。2つ目はプレーの事です。今まで習った事を生かして優勝したいです。そして最後は優勝して青森に戻ってきます。



14 島谷龍之介

①しまや・りゅうのすけ (5年)
②P G ③ベンチにいる時は、応援したりして、戻ってきたらうちわで扇いだりしたいです。全国大会では、全力を尽くして悔いのないようにしたいです。

後輩たちにエール!

■小関修平君 (現在: 五所高3年・元柏スポ少)

全国大会の雰囲気は、県大会や東北大会などと比べたらスケールの大きさが違いすぎ。代々木競技場の体育館の広さに圧倒された田舎者の僕は、試合前からへこんでいたことを覚えています。また、試合前日の練習試合では足をねんざしてしまい「チームに迷惑をかけてしまった。本番でプレー出来ないのでは…」と辛い思いをしました。後輩たちには、常に謙虚な気持ちで、いつでも・どこでも・誰にでも「あいさつ」を忘れず、自分たちを支えてくれる方々に感謝しながらバスケットを楽しんでほしいです。

■木津佑輔君 (現在: 五所第一高3年・元柏スポ少)

当時は全国大会で勝つために厳しい練習に耐え、体格も技術も上回る中学生と練習をしました。僕らの時のコーチは、今と同じ木村友明コーチで、めちゃくちゃ怖く、練習も厳しかったことを覚えています。全国大会は、各地から激戦を勝ち抜いてきた強豪チームばかりで、自分たちより強く見えてしまい、精神的に負けてしまいました。それでもみんなで必死に声を出し合い、優勝を目指しましたが全国3位という成績でした。

今回出場する選手の皆さんには、木村コーチのことを守り、仲間を信頼してプレーしてきてほしいと思います。

第35回全国ミニバス大会(第3位)



小関修平 木津佑輔



小笠原崇浩 監督

体は小柄、それを攻めに生かす

柏の選手たちは他のチームに比べて小柄な選手が多く、スター的な選手もいない。しかし、小回りが利くので速いパス回しで突破口を開き勝負するつもり。全国大会ではこれまで練習してきた事を十分発揮できるように選手を励まし、今までお世話になった方々への感謝の気持ちを忘れずに戦ってきます。



坂本徹 校長

どこまでも仲間を信じて

柏小学校のスローガンは「みんな仲間、共に生きて共に学べ」。仲間を信じて思いっきりプレーしてきてほしい。どちらかと言えば6年生は内気な子が多いけど、この大会を契機に見聞を広めて、精神的にたくましくなってきたほしいと思います。結果は結果として受け止め、結果を導くプロセスも大切にしながら、次のステップにつなげてほしいと思います。